



～ 災害時に不可欠なトイレを確保 ～

秩父市役所駐車場にマンホールトイレ整備

【strong point/ここが言いたい!】

能登半島地震でも切実な問題となっていたトイレ。避難所には、汚物で使用不能となった便器や、数人で使わなければならない携帯トイレなど、大規模災害のたびに同じような問題が起きています。

このようなことから、災害時にトイレが確保できる対策として、マンホールトイレを整備しました。



【概要】

○整備場所 秩父市役所南側駐車場

○工事額 22,837,100円

○設置個数 共用6基・多目的用2基・男子用小便器4基・手洗い4基・防災倉庫1基

○構造 貯留型

※し尿を貯留管に貯留し、満水時(1日1回)に仕切弁を開けて下水道本管に流す。

【設置・展示】

○12月3日(火)午後1時～午後9時

共用1基・多目的用1基・男子用小便器2基を展示します。

※展示場所には、案内の職員を配置します。

【next plan/今後の事業展開】

災害時のトイレ問題は、被災した方のプライバシーと健康に関わる重要な課題です。マンホールトイレは、迅速な設置と衛生的な環境が確保できることから、展示時の市民の声や防災訓練などを通して整備について検討します。

総務部危機管理課

担当者：強谷・丸山

☎0494-22-2206

FAX：0494-22-1363



秩父市イメージキャラクター

ポテくん と ふめるちゃん